

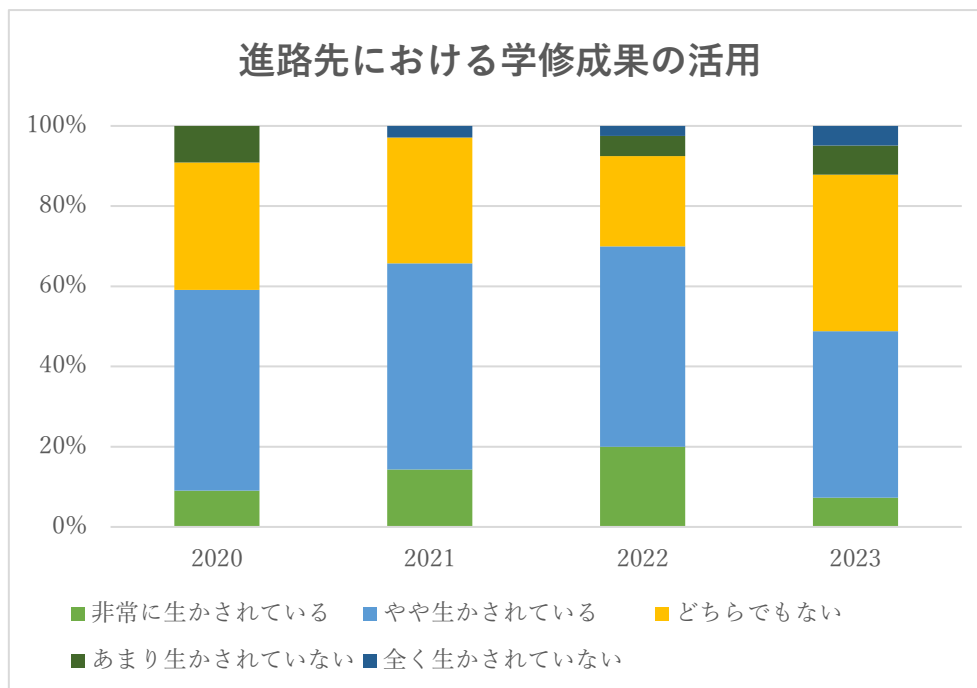
## 令和5年度卒業生調査結果概要

公益学部では、卒業後3年目を迎える卒業生を対象にアンケート調査を実施し、進路先において学修成果がどのように生かされているか等について、過年度との比較を行っている。

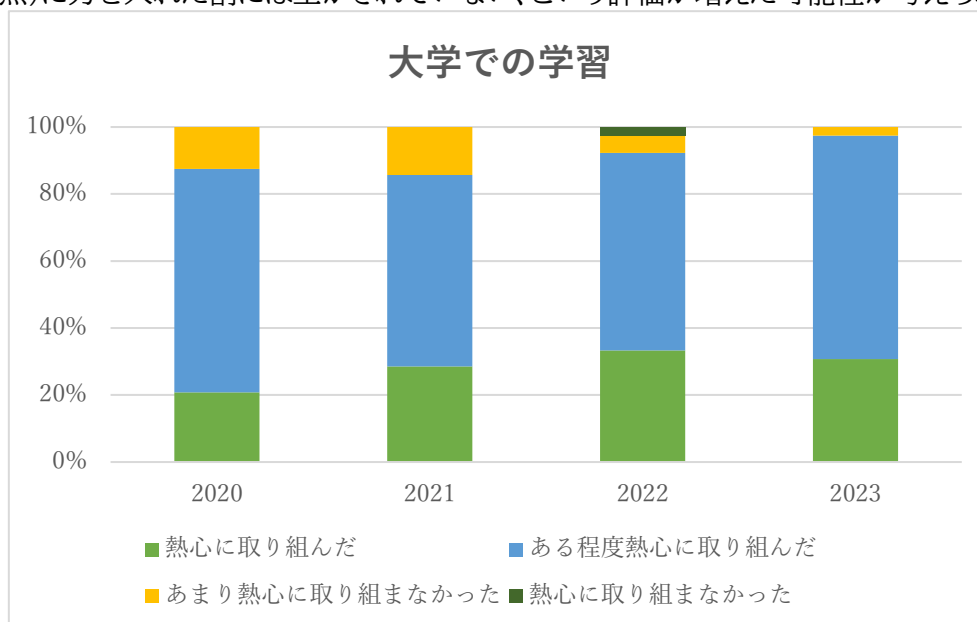
令和5年度(令和5年8月実施)は201名に調査票を送付し、41名から提出があった。

以下、重要な項目について分析結果を記す。

### 【マーク式回答】

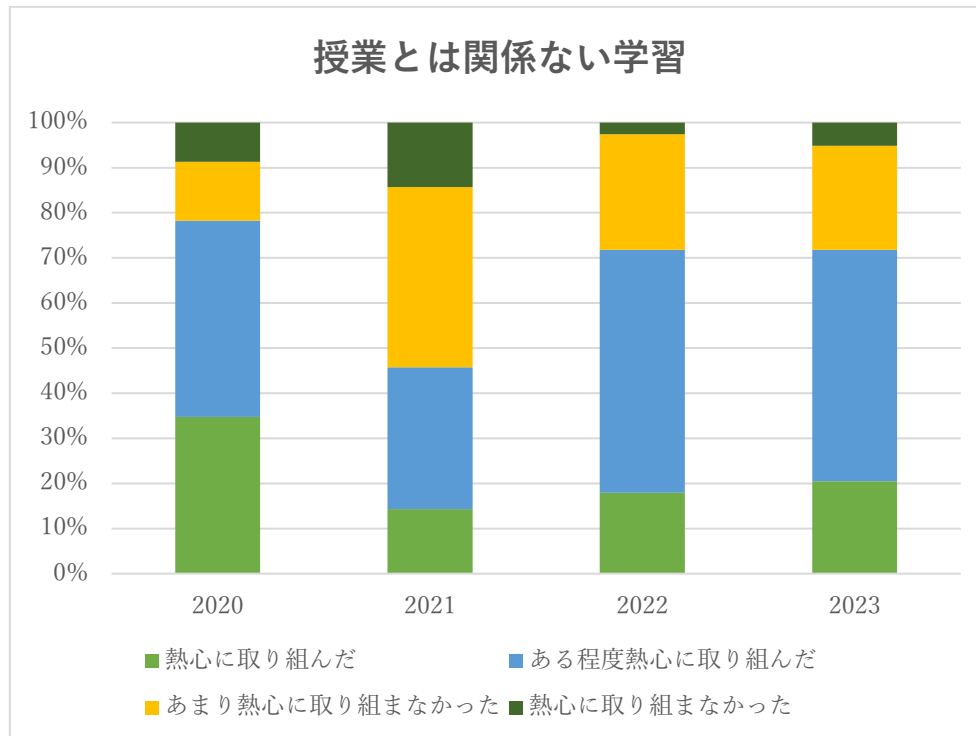


昨年度に比べて「非常に生かされている」が減少し、「どちらでもない」が増えた。「あまり生かされていない」の中には、「勉強してきた英語を使うことはほとんど無い」が「多数の意見を聴いたり自分の発言をしたりしたことが(中略)役立っている」と回答しているものなどもあり、「大学での学習」(下記参照)に力を入れた割には生かされていない、という評価が増えた可能性が考えられる。



無回答2名を含む3名を除いて全員が「熱心に取り組んだ」または「ある程度熱心に取り組んだ」と回答した。

## 授業とは関係ない学習



「熱心に取り組んだ」20.5%、「ある程度熱心に取り組んだ」51.3%で、合わせると昨年度よりわずかながら増えた。

### 【記述式回答】

Q. 具体的にどのような学習がどのような場面で生かされていますか。

- A1. ゼミでの活動やインターン、留学、販売実践のような授業科目が、自発的な課題発見力と問題解決力につながり、仕事のモチベーションや意欲になっていると感じる。
- A2. 提案書を作成するときなどの情報収集力やプレゼン内容の構成力など学んだことが活かされていると思う。
- A3. 条文の読み方や解釈の仕方等の学習が(中略)生かされている。
- A4. 私の業種は相談業務が多いため、社会福祉士養成課程での相談演習が大いに生かされている。
- A5. プロジェクト型課題解決演習(原文ママ)で課題に向けどう取り組み、解決していくかを計画立てて遂行することができたことが現在も活用されている。(業務の課題に対する取り組みで)
- A6. グループ学習等で様々な意見があることに触れ、私の考え方、感情だけが全てではなく、他の考え方、感じ方がある事を理解し、その上で、他の人にどう説明したら伝わるか(以下略)
- A7. 講義内でのグループディスカッションなどが、災害現場や日常業務の中での接遇などにつながっていると感じた。
- A8. 科目に(原文ママ)問わず、グループディスカッションなどで多数の意見を聴いたり自分の発言をしたりしたことが、今の仕事でお客様と話す際に役立っている。
- A9. サークル活動で得た主体性や協調性、柔軟性なども常に必要なので良い経験ができたと感じています。

ディプロマポリシーに定める4つの力「コミュニケーション力と発信力」「国際感覚」「創造力と企画力」「リーダーシップ」に基づく「公益大22の力」の項目となっている各スキル(「課題発見力」「問題解決力」「情報収集力」「柔軟性」など)に言及した回答が複数あり、学修ワークシートを通じた振り返りや目標設定が、卒業後にも生かされており、高く評価できる。各コースでの学びで得た知識が直接業務の役に立っているという回答だけでなく、「計画立てて遂行する力」や「他人の考え方や感じ方を理解して説明の仕方を工夫する力」などが生かされているという回答も多く、演習やアクティブ・ラーニングを多く取り入れた公益学科の学びの成果が認められたものと判断できる。